

緊急事態の今、考えてほしいこと

毎日のようにテレビやネットで新型コロナウイルスの話題が報道されています。「コロナ疲れ」や「自粛疲れ」といった言葉がでてくるぐらい、日本中が新型コロナウイルスに感染しないように自粛に協力しています。君たちも自分自身が感染しないように、また大切な人を感染させないように自粛の日々が続いているかと思います。

今日は、新型コロナウイルスの日本のニュースと海外でのニュースや日本の歴史などを紹介しながら、君たちには、これからの日本の未来について考えてもらいたいと思います。

まずは日本のニュースです。君たちも知っている通り、日本では4月7日に大阪を含めた7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。これによって、様々な人や企業に影響が及んでいます。外出の自粛、学校は休校、飲食店をはじめとするお店が休業や営業時間の短縮、会社に勤める人の多くは自宅で仕事をするように要請されました。この要請というのは、「お願い」ということで、**強制力はなく、違反したからといって罰則はありません。**



日本の隣にある韓国や台湾は、日本より早く収束に向かっている報道もありました。新型コロナウイルスへの対応がうまくいっていると言われていています。いくつかの要因があると思いますが、はじめの対応が素早かったこと、ドライブスルー方式の**徹底した検査**、政府がマスクを買い上げて、買い占めなどの混乱を防ぐために**管理**したことがよかったのかもしれません。また、海外から戻った人は隔離し、違反した人には**罰金**を科しました。

海外の報道や日本人のコメンテーターの中にも「日本の緊急事態宣言は緩い」などと言う人もいます。現実として、緊急事態宣言が全国に拡大される前、大阪のパチンコ店が休業しているの、奈良のパチンコ店の駐車場には大阪のナンバープレートをつけた車が多くみられたようです。日本は、本当にこのままでコロナウイルスを収束することができるのかという不安になりました。

では、なぜ日本の政府はもっと**強い命令**を出したり、**罰金**を科したりしないのでしょうか。緊急事態ですよね。なんとしてでもコロナウイルスに打ち勝たないといけませんよね。

もしかしたら、日本の歴史が関係しているのかもしれませんが。過去に何度もこのような難局(困難な状況)を乗り越えて、今の日本があります。君たちも小学校や1年生の時に歴史の学習をし

てきましたね。日本の歴史の中で最も重大な難局の1つといえば、太平洋戦争(1941~45年)です。この戦時下で出された法律が「国家総動員法」というものです。簡単にいえば、この法律は「国民全員が戦争のために協力しなさい」というものでした。新聞は**言論の自由**(思ったことや感じたことを自由に書くこと)が奪われ、政府の都合が良いことばかりが紙面を飾るようになりました。農家が収穫した米は、供出といって政府に提供しなければなりません。戦争が長引き、食料が不足してくると米を自由に販売することも許されなくなりました。自分の**財産**や**経済活動の自由**さえも奪われていったのです。さらに、未来のある学生までが戦争に兵隊として駆り出されたり、武器の開発の研究をさせられたり、軍需工場で働かされたりと、自分のやりたいことをやる**職業選択の自由**さえも奪われていったのです。こんなことが許されたのは、戦争という「緊急事態」だったからでしょう。大きな声で戦争に反対することは認められず、戦争に協力しないものは「非国民」とののしられました。そこには、**強い強制力と徹底した管理**がありました。人々の自由や権利と引き換えに戦争に打ち勝とうとしたのです。

戦後、日本はこれらの反省を生かして変わりました。新しい憲法を制定し、人々に自由や権利を認めました。二度と戦時中の生活のような悲惨な経験をしないように、1人ひとりが認められるようになっていったのです。

緊急事態の今、君たちにはこれからの日本の道を考えてもらいたいと思います。国の方向性のかじ取りをするのは総理大臣かもしれませんが、でも、民主主義の現在、国のあり方を考えるのは、国民1人ひとりであるべきです。1人ひとりの考えは違っていいのです。正解は1つではありません。

外国のような強い強制力や徹底した管理には、即効性があります。日本ももっと早くコロナウイルスに打ち勝てたかもしれません。外国の中には、「ロックダウン」といって、都市封鎖をした国がありました。自分の家に帰ることも、外にでることも許されません。徹底した管理です。しかし、日本はそういった道を選びませんでした。多くの感染者や死者がでる中で、それが正しいのか今はわかりません。しかし、日本はあくまで、**要請**つまり国民に対するお願いという形を選んだのです。

サッカー元日本代表の三浦知良さんが緊急事態宣言の前に、自身のホームページでこんなメッセージを発信されていました。最後にその一部を紹介します。

力を発揮するなら今、そうとらえて僕はできることをする。ロックダウンでなく、「セルフ・ロックダウン」でいくよ。自分を信じる。僕たちのモラル、秩序と連帯、日本のアイデンティティで乗り切ってみせる。(三浦選手HPより抜粋)

